

住民主体のまちづくり

No.37 2016. 12

編集発行：車尾まちづくり推進会議 事務局

■ 模擬訓練の実施

車尾地区社会福祉協議会は11月15日（火）午後2時から「特殊詐欺被害を防ぐ地域モデル検証事業」の取り組みとして、車尾郵便局で模擬訓練を行いました。登場人物は住民2人・警察官2人・郵便局員2人が役を演じました。



訓練の筋書きは、「70代の男性に電話で健康保険料の払い過ぎがあったので還付手続きの書類を送りましたが、手続きしなかったですね。とウソの電話からはじまり、本人を電話で郵便局のATMに誘い出す。」というものです。「郵便局では窓口対応の職員が気づき、局長の通報で警察官が到着し無事被害に遭わずに解決するものです。」報道関係者および市内郵便局長さんが多数見学され、関心の高さを物語りました。

■ 観音寺丘陵の最高地に配水池タンク

米子市の水道は、日野川左岸の車尾水源地から給水を開始して今年で90周年を迎えました。しかし合併による給水区域の拡大や人口増加に伴う水需要に対応するため観音寺丘陵の最高地（68m）に、平成24年度から4年の歳月を経て配水池の設置事業を完了し本年11月から運用を開始しました。この配水池は高低差による自然エネルギーを活用した仕組みが大きな特徴です。配水池は井戸からくみ上げた水を貯め、高低差を利用した自然の流れで各家庭に配水する「自然流下方式」であり停電でも安心です。水源地から配水池までの短い距離を水送するので使用電力がこれまでより各

家庭に配水する電力分が不要になり大きなメリットです。この配水池は、環境にやさしく安定供給できる優れモノです。また1つ車尾に宝物が誕生しました。



配水池の全景

■ 旧日野橋の長寿を祝う

米子市と国土交通省倉吉河川国道事務所は、11月18日（金）の「土曜日」に午前10時から「日野橋の長寿を祝う会」を開催しました。「旧日野橋」（延長約366m）は1929年（昭和4）5月19日に一級河川日野川を渡る橋梁として誕生し、今年、88歳の米寿を迎えました。誕生以来、車尾の住民の生活道路として広く活用されるとともにその綺麗な曲線美の見た目が多くの人々に親しまれ、国の登録有形文化財として土木遺産にも登録されるなど、これまで輝かしい生涯を歩んできました。長年に渡って地域を支える土木構造物として愛された「旧日野橋」に感謝の気持ちを伝えるとともに、これからの長寿を祈念し祝う会が行われました。住民を代表して橋に近い2区と3区の米寿が今年迎えられた方々が参列されました。



美しい6連曲弦トラス橋

自分たちのまちは自分たちで（ つくる つなぐ つづける ）